

# やまがた地球家族

YAMAGATA GLOBAL FAMILY



Wikimedia Commons: ワンゲ国立公園

『協力隊を支援する やまがた地球家族の会』機関誌 号外

## 「国際力を高めるエンパワーメントセミナー」開催！

2008年10月23日(木)米沢市・伝国の杜にて、【国際力を高めるエンパワーメントセミナー】が開催されました。県内企業・自治体などから多数ご参加頂いた他、JICA 青年海外協力隊事務局次長・笹館さんも急遽ご参加。盛会御礼！

荘内銀行法人営業本部海外取引支援室長・石井さんより、本県企業の海外展開の現況と課題についてご講演頂きました。また、JICA 東北支部長・甲斐さんから、JICA ボランティアについてご説明頂きました。



続いて JICA ボランティア OB による現地での活動報告。ジンバブエからこの3月に帰国した伊藤さんは、子どもたちへの環境教育に力を注がれました【※1】。ガーナで活動なさっていた菅野さんは、村への貢献が認められて、エイナブリム村の副首長に任命された【※2】とのことでした。

最後に、山形短期大学非常勤講師・吉田さんの

コーディネートで参加者が意見交換を行いました。

ご参加の皆さん、開催にあたりご協力下さった方々に、厚く御礼申し上げます。

**壮行会** 石垣さんスリランカへ！  
松田さんマダガスカルへ！



2008年12月19日(金)、2008年度第3次隊青年海外協力隊として赴任する本県関係者2名が山形県庁を訪れ、細谷文化環境部長と懇談。抱負などを語りました。

今回派遣されるのは、石垣小百合さん(遊佐町出身・青少年活動・派遣国スリランカ)と松田智さん(山形市出身・青少年活動・派遣国マダガスカル)のお2人です。YOCA(NPO法人 山形県青年海外協力協会)と当会では、出発を目前にしたお2人の壮行会を開催しました。

協力隊への参加動機として、石垣さんは「以前訪れたベトナムでのストリートチルドレンの現状を見て、自分で何か協力したいと思っていた」、松田さんは「そこにマダガスカルがあるから自分が行くんだ」と語って下さいました。

お2人の現地での活躍を、心からお祈り致します。元気で行ってらっしゃい！

注) 更に詳しい活躍ぶりは、インターネットでご覧頂けます！

※1: 「青年海外協力隊 ジンバブエで環境教育」→ [www.asahi.com/](http://www.asahi.com/)

※2: 「村の副首長という名誉ある職に任命された菅野芳春さんガーナより帰国！」→ [www.jica.go.jp/tohoku/](http://www.jica.go.jp/tohoku/)

## 山形新聞 (夕刊) 2009年1月23日付より

山形県青年海外協力協会理事であり、当会でも監事を務めて下さっている吉田庸一さんが、山形新聞に【協力隊の「力」地域に還元】と題した提言を発表されました。JICA ボランティアの現状と帰国後の支援についての問題点、今後への展望などが簡潔にまとめられていますので、ぜひご一読ください。

YTS  
提言の広場  
に出演

2008年11月30日(日)、8時から放送されたYTS山形テレビ【提言の広場】に、当会の斎藤栄司副会長が出演しました。

この回のテーマは《山形と世界をつなごう～笑顔が輝く！海外ボランティア》。開発途上地域の経済・社会の発展や復興に協力するJICA(国際協力機構)の派遣事業を紹介しながら、海外ボランティアの意義や推進の為の課題を考える構成になっていました。

斎藤副会長とともに、当会顧問でもある(株)でん六・鈴木社長とJICA山形デスク・伊東さんもご出演。「収録後半は時間がおして、マキマキの状態でした・・・」とのこと、皆さんお疲れさまでした!

### ■『協力隊を支援する やまがた地球家族の会』入会のご案内

【会費】 ●個人会員 = 3000円 ●家族会員 = 1000円(個人会員の家族) ●学生会員 = 1000円 ●団体会員 = 10000円(企業及び団体)

【会員特典】JICAボランティアの姿を通して、世界が見える!「国際ボランティアマガジン 月刊《クロスロード》」を、年間購読料5000円のところで、希望する会員には2000円の送料手数料のみで1年間12冊ご提供いたします。

# 協力隊の「力」地域に還元

## 提言

国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊が充足して今年で四十四年目になる。これまでアフリカや中南米などの発展途上国に隊員を派遣し帰国した隊員は三万人に達する。隊員は日本

県青年海外協力協会理事

吉田 庸一



## 帰国後支援 もっとと広く

外交の「顔」に見える協力の一環として途上国の人々と生活をともにし、「人づくり、国造り」を担っている。隊員は任地国での技術指導を通して「地球規模の人のつながり、彼らと一緒に生きることを学び、しなやかな対応

力をつけて帰国している。とは、結果的に地域活性化につ

しかし、残念ながら帰国した隊員の就業支援などの状況は発

足当時とあまり変わっていない。派遣期間中の休職が認められず、やむなく退職するケースが多い。帰国後も県内で就職が

力をつけて帰国している。とは、結果的に地域活性化につ

しかし、残念ながら帰国した隊員の就業支援などの状況は発

足当時とあまり変わっていない。派遣期間中の休職が認められず、やむなく退職するケースが多い。帰国後も県内で就職が

力をつけて帰国している。とは、結果的に地域活性化につ

しかし、残念ながら帰国した隊員の就業支援などの状況は発

足当時とあまり変わっていない。派遣期間中の休職が認められず、やむなく退職するケースが多い。帰国後も県内で就職が

力をつけて帰国している。とは、結果的に地域活性化につ

しかし、残念ながら帰国した隊員の就業支援などの状況は発

足当時とあまり変わっていない。派遣期間中の休職が認められず、やむなく退職するケースが多い。帰国後も県内で就職が

力をつけて帰国している。とは、結果的に地域活性化につ

しかし、残念ながら帰国した隊員の就業支援などの状況は発

足当時とあまり変わっていない。派遣期間中の休職が認められず、やむなく退職するケースが多い。帰国後も県内で就職が

力をつけて帰国している。とは、結果的に地域活性化につ

しかし、残念ながら帰国した隊員の就業支援などの状況は発

足当時とあまり変わっていない。派遣期間中の休職が認められず、やむなく退職するケースが多い。帰国後も県内で就職が

☆お問い合わせ/ご入会のお申し込みは、当会事務局まで。

## やまがた地球家族 号外

平成21年2月28日発行(号外) 発行人/酒井忠久

発行/〒999-7725 山形県庄内町沢新田151 富樫方 『協力隊を支援する やまがた地球家族の会』事務局

TEL&FAX) 0234-42-1458 (富樫) E-mail) info@chikyukazoku.net Website) http://www.chikyukazoku.net/